

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和5年度第2回たかまつ創生総合戦略推進懇談会
開 催 日 時	令和6年2月13日（火）15時～15時40分
開 催 場 所	高松市役所防災合同庁舎3階301会議室
議 題	(1) 第7次高松市総合計画実施計画（次期たかまつ創生総合戦略）素案について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員 (13名)	石原委員、久保委員、糸井委員、鈴木委員、田井委員、田口委員、佃委員、土井委員、中村委員、西森委員、藤本委員、古川委員、星野委員、
傍 聴 者	3人（定員5人）
担 当 課 及 び 連 絡 先	政策課 839-2135

会議の経過及び結果

（1）第7次高松市総合計画実施計画（次期たかまつ創生総合戦略）素案について

事務局から、投影資料を使い素案の概要について説明した。また、各委員から事前に提出のあった意見・質問に対する回答について、資料を使い説明した。

（委員）

OODAループの導入については賛成する。ただし、この手法を導入するためには、予算や意思決定などある程度現場への権限移譲が必要だと思われるが、自治体においてそれが可能なのか。

（事務局）

素案 106 ページ以降にも記載している組織連携を行いながら、OODAループの考えを取り入れていきたいと考えている。

その場での判断は、最初は難しいと思うが、年度単位で状況を見ながら手法改善していきたい。これらについて評価を行い

ながら、適した分野があれば裁量の部分についても検討していきたい。

(委員)

総合計画を具体的に推進していくための下位の各種計画と重複した内容になっていないか。

(事務局)

現在、分野別計画は約 80 あり、それぞれ総合計画の施策別の取組の方向性と整合を取りながら、個別具体的な取組を記載している。ただし、目指す姿や取組の方向性など一部重複した内容はある。

(委員)

出生数がどんどん減っている。妊娠期からの子育て支援とあるが、妊娠前や妊娠していない、未婚の方への子育てや結婚につながる支援策があってもいいのではないか。

学校以外の教育施設の充実について、家庭・地域の教育力の向上以外のページ、例えば学びを支援する教育環境の充実のところなどで触れていただくのはどうか。

(事務局)

出生数の減少については、行政も深刻な課題と捉えている。

基本構想、実施計画に出生数の目標を置き、その実現に向けて、妊娠期からの支援に加えて、結婚への支援や結婚の際の経済的な負担の軽減などについても今後検討していきたい。

教育施設に関して、不登校児童の増加傾向などもあり、学校以外での教育をどのように行っていくか教育部局でも課題と捉えている。今後どのような取組ができるか検討していく。

(2) その他について

(事務局)

今年度の懇談会はこれで終了となる。今回の意見については、次期たかまつ創生総合戦略の策定や今後の事業検討にあたっての参考とさせていただく。また、次年度からは高松市総合計画推進会議において、事業の進行管理を検討している。

(閉会)